

平成 25 年 11 月 20 日

## 日本製紙連合会温暖化対策表彰記念シンポジウムのご案内

地球温暖化問題は世界共通の課題であり、わが国でも目に見える形でのCO<sub>2</sub>削減が求められています。そのような流れの中で、製紙業においても実効性の高いCO<sub>2</sub>削減を行う必要があります。1997年より環境自主行動計画を策定し二度の改定を含みながら、化石エネルギー原単位及び化石エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出原単位の削減と国内外の植林面積の拡大を推進してきました。

また、京都議定書の約束期間である2008-2012年度においては、業界全体で目標を策定し、達成に向けて高効率機器の導入をはじめとする省エネ対策並びにバイオマス・廃棄物を利用した燃料転換対策等、様々な取り組みを行って参りました。

2012年度のフォローアップをもって、約束期間における実績が取りまとめられ、2013年度以降は新しい「低炭素社会実行計画」を策定し、業界を挙げて更なる省エネ、省CO<sub>2</sub>に取り組んでいくこととなります。そこで、今後とも更なるCO<sub>2</sub>削減に対する意欲の増進と削減優良事例の普及を図るために、一応の区切りである、2012年度のフォローアップの結果をもって、目標の達成に向けて努力した企業を表彰することとなりました。

その表彰の一環として紙パルプ技術協会と共催でシンポジウムを開催し、これまでの製紙業界の地球温暖化対策の取り組みを振り返るとともに、今後の方向性・可能性等について考える場にしたいと思います。エネルギー関係者には別途ご案内をいたしておりますが、是非、多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 記

1. 日 時：平成 25 年 12 月 4 日（水） 15 時～17 時
2. 場 所：経団連会館 5 階 会議室 503～504 号室（ルビールーム）  
（東京都千代田区大手町 1-3-2）
3. 概 要：第一部 15：00～15：50  
「当面の地球温暖化政策／COP19の論点（仮題）」  
（一財）日本エネルギー経済研究所 研究主幹 田上貴彦 氏  
  
第二部（討論会）16：00～17：00  
「製紙業界における今後の有効な温暖化対策技術について」  
出席者；判治 洋一 氏／（一財）省エネルギーセンター 理事  
園部 博之 氏／当会エネルギー委員会委員（日本製紙株）  
若松 操 氏／当会技術委員会委員（レンゴー株）  
鈴木 裕 氏／当会エネルギー委員会委員（北越紀州製紙株）
4. 参加費：無料
5. ご参加申し込み先：日本製紙連合会技術環境部 [yuko-k@jpa.gr.jp](mailto:yuko-k@jpa.gr.jp)  
または別添 FAX 用紙にて

\*\*\*\*\* 温暖化対策表彰記念シンポジウム 12月4日開催\*\*\*\*\*

FAX 申込送信先 03-3248-4827 (日本製紙連合会技術環境部)

貴社名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

御役職・お名前 \_\_\_\_\_  
(複数名希望の場合は下記の余白にご記入ください)

連絡先 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-Mail \_\_\_\_\_

- \* 定員になり次第、受付終了とさせていただきます。
- \* また、複数名申込された会社様には、人数の調整をお願いする場合があります。

本件に関するお問い合わせ  
日本製紙連合会 技術環境部 (TEL 03-3248-4808)